

【基本理念】自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <http://www.saitama-city.ed.jp/05gakko/sizennoie/tateiwa/index.html>

令和4年度第5号(12・1月)

さいたま市立館岩少年自然の家

TEL 0241-78-2311

FAX 0241-78-2313

自然の家がある館岩地区では、令和4年11月27日に初雪が降り、本格的な厳冬を迎えています。令和5年1月に入り、積雪が150cmを超え、自然の家周辺は一面銀世界です。たかつえスキー場、南郷スキー場には、パウダースノーが降り積もり、多くの生徒が感動の声を上げています。57校の中学校が充実した自然の教室(冬季)を実施できるよう、所員一同精一杯取り組んで参ります。

○「自然の教室(冬季)開始」

1月10日(火)からたかつえスキー場では大原中学校、南郷スキー場では城北中学校を皮切りに、自然の教室(冬季)が始まりました。3日間の自然の教室で、スキー技能の向上だけでなく、南会津の方々との交流や雪国体験活動を通して、雪国の人々の暮らしや文化について理解を深めています。初めてスキーを体験する生徒が多く、日々成長を実感し、充実した様子が見られました。

たかつえでの自然の教室 大原中学校 1/10(火)~1/12(木)



最終日、子どもたちは、頂上から七ヶ岳を眺めました。スキーだけでなく、荘厳な自然を満喫しました。

南郷での自然の教室 城北中学校 1/10(火)~1/12(木)



子どもたちは、初めてのスキーに挑戦し、仲間と励まし合いながら、スキーの技能を磨きました。

○「自然の教室(冬季)実施担当教員現地研修会」

11月下旬に自然の教室(冬季)の現地研修会を、会場となるたかつえと南郷で実施しました。参加された先生方はスキー場の施設や宿泊施設の見学をしたり、生徒の非認知能力を高めるための活動の進め方について研修を受けたりしました。

自然の教室たかつえ現地研修会 11/21(月)~11/22(火)



非認知能力について講義を受けている様子

自然の教室南郷現地研修会 11/24(木)~11/25(金)



南郷ロッジについて説明を受けている様子

○「だいらスキー場 たかつえスキー場 南郷スキー場 合同安全祈願祭」

12月6日(火)に、会津高原だいらスキー場、会津高原たかつえスキー場、会津高原南郷スキー場の合同安全祈願祭が開催されました。株式会社みなみあいづ代表取締役社長、南会津町長、南会津町議会議長をはじめ、スキー場関係者が集まり、今シーズンの安全と十分な降雪について祈願しました。自然の家の所員も出席し、スキー場を利用する生徒や先生方の安全を祈願しました。



合同安全祈願祭の様子

○「活動プログラム紹介⑤～かんじき体験～」 ※たかつえ・南郷両方で実施できるプログラムです

かんじきとは、雪道を歩きやすくするための、木と縄で作った円形の履物です。足をかんじきの中心に乗せて紐で固定し、雪の上を歩きます。踏み固められていない雪の上をかんじきで歩くと、雪の中に足が沈みにくくなり歩きやすくなることを体験できます。

このプログラムは、中学2年生の理科「地球の大気と天気の変化（圧力）」の学習や、中学2年生の社会「日本の様々な地域」の学習と関連付けられます。また、雪国に生活する人々の知恵を感じられる、特別豪雪地帯の南会津ならではのプログラムです。

指扇中学校が1月19日（木）にホテル南郷周辺でかんじき体験をしました。かんじきで雪上を歩く感触を楽しんだり、ふわふわの新雪に飛び込んだり、冬の大自然を全身で感じていました。



「かんじき」



「かんじきを履いている様子」



「かんじきで雪上を歩いている様子」

指扇中学校

○「スキー指導者実技講習会」



スキー指導者実技講習会の様子

12月24日（土）にたかつえスキー場にて、スキー指導者実技講習会を行いました。さいたま市の自然の教室（冬季）に参加した生徒全員がけが無く、実りのあるスキー活動を行えるように、スキー指導者の指導力向上を目的とします。実技講習会では、たかつえスキースクールの講師からスキー場の使い方や子どもたちへの指導のポイントを指導していただきました。また、指導者同士でも、子どもたちへの効果的な指導方法について情報交換をしていました。

スキー場や指導者の方々は、さいたま市の子どもたちの受け入れに備え、万全の準備を整えています。

○「自然探訪～12月・1月～」

山に棲んでいる動物は私たち人間に姿を見せることはあまりありません。しかし、雪が積もったこの時期は、あちらこちらに動物の痕跡を発見できます。今年は卯年ですので、雪に残されたニホンノウサギの足跡を紹介します。ウサギの走り方は、前足を先について、後ろ足が前足より大きく前に着地します。跳び箱を跳ぶようなイメージです。スキー場でもよく見かけますので、ぜひ探してみてください。



ニホンノウサギの足跡

○「川魚さばきの串づくり」

冬の間に、自然の家に長年勤務している会計年度任用職員が、自然の教室（夏季）の「川魚さばき」で使用する串を、1本1本丹精込めて手作りをしています。串の材料となるタケはイネ科の植物で、イネ科の植物には、茎に節があります。串づくりでは、節が少ない部分を選んで加工しています。また、とげが刺さらないよう丁寧に磨いています。



1本ずつ串を手作りしている様子